

日本原子力発電株式会社 敦賀発電所
令和4年度(第3四半期)
原子力規制検査報告書
(原子力施設安全及び放射線安全に係る基本検査)
(案)

令和5年1月
検査監督総括課
実用炉監視部門
専門検査部門

目次

1. 実施概要	1
2. 運転等の状況	1
3. 検査結果	1
4. 検査内容	2
5. 確認資料	4
別添1 検査指摘事項等の詳細	別添 1-1

1. 実施概要

- (1)事業者名:日本原子力発電株式会社
- (2)事業所名:敦賀発電所及び本店
- (3)検査期間:令和4年10月1日～令和4年12月31日
- (4)検査実施者:敦賀原子力規制事務所

岸田 国基

池谷 和彦

原子力規制部検査グループ検査監督総括課

米林 賢二

田邊 翔

山田 顕登

原子力規制部検査グループ実用炉監視部門

杉本 孝信

小野 達也

反町 幸之助

原子力規制部検査グループ専門検査部門

中田 聡

福島第二原子力規制事務所

久光 仁

検査補助者:敦賀原子力規制事務所

塚本 幸利

原子力規制部検査グループ専門検査部門

小坂 淳彦

原子力規制部審査グループ地震・津波審査部門

海田 孝明

2. 運転等の状況

号機	電気出力 (万kW)	検査期間中の運転、停止、廃止措置及び建設の状況
1号機	35.7	廃止措置中(使用済燃料貯蔵池に使用済燃料を貯蔵中)
2号機	116.0	停止中

3. 検査結果

検査は、検査対象に対して適切な検査運用ガイド(以下単に「ガイド」という。)を使用して実施した。検査対象については、原子力検査官が事前に入手した現状の施設の運用や保安に関

する事項、保安活動の状況、リスク情報等を踏まえて選定し、検査を行った。検査においては、事業者の実際の保安活動、社内基準、記録類の確認、関係者への聞き取り等により活動状況を確認した。ガイドは、原子力規制委員会ホームページに掲載されている。

第3四半期の結果は、以下のとおりである。

3. 1 検査指摘事項等

重要度又は規制措置が確定した検査指摘事項等は、以下のとおりである。

詳細は、別添1参照

(1)

件名	敦賀発電所2号機ボーリング柱状図データ書換えの原因調査分析※
検査運用ガイド	BQ0010 品質マネジメントシステムの運用
検査種別	チーム検査
事象の概要	令和2年2月7日に実施された第 833 回審査会合において、日本原電敦賀発電所2号機の審査資料中のボーリング柱状図の記事欄の一部が、第 657 回の審査会合時に提出された柱状図の記事欄から不適切に書換えられ、さらに説明なく提出されていることが判明した。 令和2年 10 月7日に開催された第 31 回原子力規制委員会において、本ボーリング柱状図データ書換え事象に対する日本原電による原因調査分析の妥当性を原子力規制検査の中で確認していくこととなった。
重要度／深刻度	—／SLⅢ

※本件は、令和4年度第 47 回原子力規制委員会(令和4年 10 月 26 日)の資料3で報告された「日本原子力発電株式会社敦賀発電所2号機設置変更許可申請の審査資料の不適切な変更管理によるボーリング柱状図データの書換え」と同一案件である。

3. 2 検査継続案件

なし

4. 検査内容

4. 1 日常検査

(1)BM0020 定期事業者検査に対する監督

検査項目 定期事業者検査

検査対象

- 1) 1号機 燃料取扱装置機能確認検査(インターロック検査)
- 2) 1号機 燃料取扱装置機能確認検査(駆動用電源・空気源喪失検査)
- 3) 1号機 使用済燃料貯蔵設備機能確認検査(監視設備)

(2)BM0110 作業管理

検査項目 作業管理

検査対象

- 1)1号機 フィルタースラッジ貯蔵タンクスラッジ移送工事
- 2)2号機 B 制御用空気圧縮機点検工事
- 3)2号機 タービン建屋床ドレンモニタ R-58 自主検査
- 4)2号機 使用済燃料ピット冷却系点検工事
- 5)2号機 雑固体減容処置設備廃液モニタタンク水位計点検作業

(3)BO0010 サーベイランス試験

検査項目 標準的な検査

検査対象

- 1)2号機 Bディーゼル発電機手動起動試験
- 2)2号機 Aディーゼル発電機手動起動試験

(4)BO1020 設備の系統構成

検査項目 標準的系統構成

検査対象

- 1)2号機 制御用空気圧縮機
- 2)2号機 使用済燃料冷却ピット冷却系統

(5)BO1040 動作可能性判断及び機能性評価

検査項目 動作可能性判断及び機能性評価

検査対象

- 1)2号機 Bディーゼル発電機
- 2)2号機 Aディーゼル発電機
- 3)2号機 A 制御用空気圧縮機

(6)BO0060 燃料体管理(運搬・貯蔵)

検査項目 燃料の運搬等

検査対象

- 1)1号機 定期事業者検査(燃料取扱装置機能確認検査)実施に伴う 照射された燃料に係る作業

(7)BE0020 火災防護

検査項目 四半期検査

検査対象

1)2号機 補助建屋可燃物管理

検査項目 年次検査

検査対象

- 1)事業者防災訓練

(8)BQ0010 品質マネジメントシステムの運用

検査項目 半期検査

検査対象

- 1)特別採用の実施状況
2)未然防止処置の実施状況

4.2 チーム検査

(1)BO1070 運転員能力

検査項目 運転責任者認定試験の適切性

検査対象

- 1)令和4年度第2回 運転責任者認定試験

(2)BQ0010 品質マネジメントシステムの運用

検査項目 その他(原子力規制委員会の指示により実施した検査)

検査対象

- 1)敦賀2号機のボーリングコア柱状図データ書換えの原因調査分析

5. 確認資料

5.1 日常検査

(1)BM0020 定期事業者検査に対する監督

検査項目 定期事業者検査

検査対象

- 1)1号機 燃料取扱装置機能確認検査(インターロック検査)

資料名

- ・日本原子力発電株式会社敦賀発電所1号機第5定事検サイクル定期事業者検査要領書 要領書番号:Ts1(定事検)－05－003
- ・日本原子力発電株式会社敦賀発電所1号機第5定事検サイクル定期事業者検査成績書 要領書番号:Ts1(定事検)－05－003

- 2)1号機 燃料取扱装置機能確認検査(駆動用電源・空気源喪失検査)

資料名

- ・日本原子力発電株式会社敦賀発電所1号機第5定事検サイクル定期事業者検査要領書 要領書番号:Ts1(定事検)－05－002
 - ・日本原子力発電株式会社敦賀発電所1号機第5定事検サイクル定期事業者検査成績書 要領書番号:Ts1(定事検)－05－002
- 3) 1号機 使用済燃料貯蔵設備機能確認検査(監視設備)
- 資料名
- ・日本原子力発電株式会社敦賀発電所1号機第5定事検サイクル定期事業者検査要領書 要領書番号:Ts1(定事検)－05－007
 - ・日本原子力発電株式会社敦賀発電所1号機第5定事検サイクル定期事業者検査成績書 要領書番号:Ts1(定事検)－05－007

(2) BM0110 作業管理

検査項目 作業管理

検査対象

- 1) 1号機 フィルタースラッジ貯蔵タンクスラッジ移送工事
- 資料名
- ・敦賀発電所1号機 フィルタースラッジ貯蔵タンク点検工事のうちスラッジ抽出工事の工事計画について(2022年6月16日)
 - ・作業(工事)日報 工事件名:敦1 フィルタースラッジ貯蔵タンク点検工事のうちフィルタースラッジ貯蔵タンクEスラッジ移送工事(2022年12月23日 他)
- 2) 2号機 B 制御用空気圧縮機点検工事
- 資料名
- ・敦賀発電所2号機第18回定事検停止時工事制御用空気圧縮機点検工事 工事要領書(2022年6月1日)
 - ・敦賀発電所2号機第18回定事検停止時工事制御用空気圧縮機点検工事 工事要領書(制御分)(2022年6月15日)・敦賀発電所2号機第18回定事検停止時工事電気設備長期保管対策工事(その2)－1工事要領書(低圧電動機点検分)(2022年6月17日)
 - ・敦賀発電所2号機制御用空気圧縮機点検工事 (B)制御用空気圧縮機試運転記録(2022年10月21日、22日)
 - ・敦賀発電所2号機制御用空気圧縮機点検工事 (B)制御用空気圧縮機 測定記録(振動)(2022年10月21日)
- 3) 2号機 タービン建屋床ドレンモニタ R-58 自主検査
- 資料名
- ・日本原子力発電株式会社敦賀発電所2号機第18保全サイクル使用前事業者検査(施設)要領書 要領書番号:Ts2(使事検)－18－007
 - ・日本原子力発電株式会社敦賀発電所2号機第18保全サイクル使用前事業者

検査(施設)成績書 要領書番号:Ts2(使事検)ー18ー007

- ・技術連絡票 件名:敦賀発電所2号機使用前事業者検査(施設)に伴う検査用計器等の依頼について(回答)

4)2号機 使用済燃料ピット冷却系点検工事

資料名

- ・敦賀発電所施設管理(機械)実施取扱書
- ・プラント系統構成変更に係るリスク評価要領
- ・敦賀発電所2号機 2022 年度1次系弁点検工事(通常時) 工事要領書(2022年8月29日)
- ・リスクマネジメント評価票:敦賀発電所2号機一次系弁点検工事(通常時)(2022年10月19日)
- ・作業票:22M2-0260 1次系弁点検工事(SFP全停分)
- ・安全処置リスト:作業票番号:22M2-0260 1次系弁点検工事(SFP全停分)

5)2号機 雑固体減容処置設備廃液モニタタンク水位計点検作業

資料名

- ・CR管理票(不適合) 敦2 A 雑固体減容処置設備廃液モニタタンク水位計の指示不信頼
- ・技術連絡票 工事件名:2020 年度雑固体減容処置設備計装品修繕工事(2022年12月2日)
- ・敦賀発電所2号機 計装品点検試験成績書 放射性廃液処理設備廃液モニタタンクA 廃液モニタタンク水位伝送器(2022年8月10日)
- ・敦賀発電所2号機 計装品点検試験成績書 放射性廃液処理設備廃液モニタタンクB 廃液モニタタンク水位伝送器(2022年9月5日)
- ・敦賀発電所2号機雑固体減容処置設備計装品修繕工事計器仕様表(2020年12月23日)

(3)BO0010 サーバイランス試験

検査項目 標準的な検査

検査対象

1)2号機 Bディーゼル発電機手動起動試験

資料名

- ・敦賀発電所2号機定期試験手順書 7.E.3(1)ディーゼル発電機手動起動試験Ⅱ
- ・敦賀発電所2号機定期試験記録 試験名:B ディーゼル発電機手動起動試験(2022年11月1日実施分)
- ・敦賀発電所2号機定期試験記録 試験名:B ディーゼル発電機手動起動試験(2022年12月1日実施分)

2)2号機 Aディーゼル発電機手動起動試験

資料名

- ・敦賀発電所2号機定期試験手順書 7.E.3(1)ディーゼル発電機手動起動試験Ⅱ
- ・敦賀発電所2号機定期試験記録 試験名:A ディーゼル発電機手動起動試験(2022年11月9日実施分)
- ・敦賀発電所2号機定期試験記録 試験名:A ディーゼル発電機手動起動試験(2022年12月7日実施分)

(4)BO1020 設備の系統構成

検査項目 標準的系統構成

検査対象

1)2号機 制御用空気圧縮機

資料名

- ・敦賀発電所2号機基本図面第257図 A 制御用空気圧縮機装置系統図
- ・敦賀発電所2号機基本図面第258図 B 制御用空気圧縮機装置系統図
- ・敦賀発電所2号機基本図面第199図 所内空気系統図
- ・敦賀発電所2号機基本図面第409図 所内空気機系統図

2)2号機 使用済燃料冷却ピット冷却系統

資料名

- ・敦賀発電所2号機基本図面第110図 使用済燃料ピット水浄化冷却系統図
- ・敦賀発電所2号機基本図面第170図 燃料取替用水系統図
- ・敦賀発電所2号機基本図面第171図 燃料取替用水浄化フィルター装置系統図

(5)BO1040 動作可能性判断及び機能性評価

検査項目 動作可能性判断及び機能性評価

検査対象

1)2号機 Bディーゼル発電機

資料名

- ・敦賀発電所2号機定期試験手順書 7.E.3(1)ディーゼル発電機手動起動試験Ⅱ
- ・敦賀発電所2号機定期試験記録 試験名:B ディーゼル発電機手動起動試験(2022年11月1日実施分)
- ・敦賀発電所2号機定期試験記録 試験名:B ディーゼル発電機手動起動試験(2022年12月1日実施分)

2)2号機 Aディーゼル発電機

資料名

- ・敦賀発電所2号機定期試験手順書 7.E.3(1)ディーゼル発電機手動起動試験Ⅱ
- ・敦賀発電所2号機定期試験記録 試験名:A ディーゼル発電機手動起動試験(2022年11月9日実施分)

- ・敦賀発電所2号機定期試験記録 試験名:A ディーゼル発電機手動起動試験(2022年12月7日実施分)

3)2号機 A 制御用空気圧縮機

資料名

- ・CR管理票(不適合)「敦2 A制御用空気圧縮機冷却水量制御弁(V-CO-024A)動作不良」(22-F41-0037)における機能評価とそのオペラビリティ判断の振り返り【発電室】
- ・CR管理票(不適合) 敦2 A制御用空気圧縮機冷却水量制御弁(V-CO-024A)動作不良
- ・CR管理票(不適合) 敦2 所内用空気系統から制御用空気系統への空気供給配管詰まり
- ・敦2 A制御用空気圧縮機冷却水量制御弁(V-CO-024A)動作不良に伴う時系列
- ・IA系不適合に伴うB-IA系復旧までの対応について(2022年10月21日(R2))
- ・制御用空気系全停時の影響(2022年10月17日)
- ・敦賀発電所2号機タービン設備運転手順書

(6)BO0060 燃料体管理(運搬・貯蔵)

検査項目 燃料の運搬等

検査対象

- 1)1号機 定期事業者検査(燃料取扱装置機能確認検査)実施に伴う 照射された燃料に係る作業
 - ・燃料管理業業務要項
 - ・敦賀発電所1号炉使用済燃料貯蔵に係る手順書
 - ・敦賀発電所1号機 照射された燃料に係る作業の運用基準
 - ・照射された燃料に係る作業前確認表(2022年11月22日)
 - ・照射された燃料に係る作業中確認表(2022年11月22日)

(7)BE0020 火災防護

検査項目 四半期検査

検査対象

1)2号機 補助建屋可燃物管理

資料名

- ・敦賀発電所防火管理要領
- ・敦賀発電所2号機持込み可燃物管理要領
- ・敦賀発電所2号機構内常設・仮置物品及びその標示に関する取扱要領

検査項目 年次検査

検査対象

1)事業者防災訓練

資料名

- ・原子力の安全を確実なものにするために実施する要員の力量基準
- ・力量確保に必要な教育訓練

(8)BQ0010 品質マネジメントシステムの運用

検査項目 半期検査

検査対象

1)特別採用の実施状況

資料名

- ・技術連絡票 敦賀発電所 特別採用及び是正処置の改善について(試運用)(2022年12月19日)
- ・敦賀発電所特別採用の運用の改善(品質保証室 2022年11月16日)
- ・CR管理票(不適合) 敦1 主変圧器製造時における要求事項の一部未適合
- ・CR管理票(不適合) 敦2 A 雑固体減容処置設備廃液モニタタンク水位計の指示不信頼
- ・CR管理票(不適合) 敦2 A 制御用空気圧縮機冷却水流量制御弁動作不良

2)未然防止処置の実施状況

資料名

- ・未然防止処置対応要領
- ・第372回トラブル検討会資料
- ・CR管理票 関電美浜3号機A非常用ディーゼル発電機トリップ事象(外部情報)を受けた未然防止対策等の検討について
- ・国内情報検討処理票 A非常用ディーゼル発電機定期試験中における自動停止による運転上の制限の逸脱(美浜発電所3号機)
- ・CR管理票【NUCIA】(検討依頼)[未然防止対応]大飯4号電動主給水ポンプミニマムフロー配管からの水漏れ
- ・国内情報検討処理票 電動主給水ポンプミニマムフロー配管からの僅かな水漏れ(大飯発電所4号機)
- ・敦賀発電所2号機配管肉厚管理手引書
- ・敦賀発電所2号機配管肉厚管理点検計画表

5.2 チーム検査

(1)BO1070 運転員能力

検査項目 運転責任者認定試験の適切性

検査対象

1) 令和4年度第2回 運転責任者認定試験

資料名

- ・令和4年度第2回 運転責任者筆記試験問題
- ・令和4年度第2回 運転責任者口答試験問題(運転員の統督に関すること)
- ・令和4年度第2回 運転実技試験結果及び同明細書
- ・令和4年度第2回 運転責任者講習レポート課題
- ・令和4年度第2回 運転責任者試験結果(BWR・PWR)

(2) BQ0010 品質マネジメントシステムの運用

検査項目 その他(原子力規制委員会の指示により実施した検査)

検査対象

1) 敦賀2号機のボーリングコア柱状図データ書換えの原因調査分析

資料名

- ・敦賀発電所2号炉 原子力規制検査(2022年5月)における指摘事項及び対応状況の概要(2022年7月26日)
- ・敦賀発電所2号炉 ボーリング柱状図不適合事案に係る検査後の社内規程改正について(2022年7月26日、9月6日)
- ・敦賀発電所2号機 新規制基準適合性審査 地形、地質・地質構造に係る審査資料(K断層の連続性評価)の作成状況について(2022年7月26日)
- ・設計管理要項
- ・外部コミュニケーション要項
- ・土木建築設備の設計管理要領
- ・原子炉設置許可申請要領
- ・設置(変更)許可申請書等に係る設計管理要領
- ・設置(変更)許可申請書等に係る調達管理要領
- ・設置(変更)許可申請書等の作成要領
- ・敦賀発電所2号炉 新規制基準対応に係る発電用原子炉設置変更許可申請書等作成実施計画書(総括)(新規制基準対応)(2022年7月11日)
- ・敦賀発電所2号炉 新規制基準対応に係る発電用原子炉設置変更許可申請書等のチェック実施計画書(新規制基準対応)(2022年7月11日)
- ・技術検討書 敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造のうちK断層の連続性評価に関する技術設計資料の作成(2022年7月15日、8月15日)
- ・「2022年度第5回 品質保証検討会」議事録(2022年6月17日)
- ・「2022年度第6回 品質保証検討会」議事録(2022年6月28日)」
- ・「2022年度第7回 品質保証検討会」議事録(2022年7月12日)」
- ・「2022年度第10回 品質保証検討会」議事録(2022年8月15日)」

- ・敦賀発電所2号機 原子力規制検査の対応のうち規程改正における説明会実施状況について(報告)(2022年5月13日、6月27日、7月11日、8月10日)
- ・敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造のうちK断層の連続性評価に関する技術設計資料の作成 個別実施計画書(2022年6月30日)
- ・2022年度内部監査「敦賀発電所2号炉 新規制基準適合性に係る審査資料作成等の実施状況」(その2)に関する内部監査結果の通知について(2022年9月2日)
- ・敦賀発電所2号機 審査資料の不適合事案を踏まえた審査資料の記載内容の信頼性の確保について(2022年9月29日)

別添1 検査指摘事項等の詳細

(1)

件名	敦賀発電所2号機ボーリング柱状図データ書換えの原因調査分析
監視領域(小分類)	—
検査運用ガイド	BQ0010 品質マネジメントシステムの運用
検査項目	その他(原子力規制委員会の指示により実施した検査)
検査対象	敦賀2号機のボーリングコア柱状図データ書換えの原因調査分析
検査種別	チーム検査
検査指摘事項等の重要度/深刻度	—/SLⅢ
検査指摘事項等の概要	<p>令和2年2月7日に実施された第833回「原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合」(以下「審査会合」という。)において、日本原子力発電株式会社(以下「日本原電」という。)敦賀発電所2号機の審査資料中のボーリング柱状図の記事欄の一部が、第657回の審査会合時に提出された柱状図の記事欄から不適切に書換えられ、さらに説明がなく提出されていることが判明した。</p> <p>そのため、令和2年10月7日に開催された第31回原子力規制委員会において、本ボーリング柱状図データ書換え事象に対し、日本原電による原因調査分析の妥当性を原子力規制検査の中で確認していくこととなった。</p> <p>その後の検査により、審査資料作成のために必要な業務計画が作成されず、断層岩区分の評価に薄片観察結果を反映させるなどの方針変更時の手順の明確化や関係者間の認識共有などの変更管理に必要な業務管理が適切に実施されていなかったこととともに、データのトレーサビリティ及び複数の調査手法による評価結果における判断根拠の明確化ができていなかったことが確認された。</p> <p>このことは、日本原電が「原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則」(以下「品質管理基準規則」という。)の第二十七条(設計開発計画)、第三十三条(設計開発の変更の管理)及び第二十三条(個別業務に必要なプロセスの計画)への適合に失敗していたことから、パフォーマンス劣化と判断する。</p> <p>しかしながら、本パフォーマンス劣化は、現在審査中の原子炉設置変更許可申請における原子炉施設の耐震性を判断するための審査資料の作成に関するものであり、実際に原子炉施設に有意な機能劣化をもたらしたものではないことから、検査指摘事項には該当しないと判断する。</p>

	<p>ただし、原子力規制委員会の規制活動は、許認可申請の内容が正確で時機を得て情報提供されるという前提に基づいて行われるものであるため、敷地内破碎帯の活動性の評価という適合性審査における重要な論点の判断に用いるデータについて、正確な情報が提供されないことにより、審査に不必要な混乱や人的資源を多大に費やすことになったことは、原子力規制委員会の規制活動に影響を与えたと判断し、深刻度を「SLⅢ」と判断する。</p>
<p>事象の説明</p>	<p>令和2年2月7日に実施された第 833 回審査会合において、日本原電敦賀発電所2号機の審査資料中のボーリング柱状図の記事欄の一部が、第 657 回の審査会合時に提出された柱状図の記事欄から不適切に書換えられ、さらに説明なく提出されていることが判明した。</p> <p>経緯を確認したところ、平成 29 年2月頃、日本原電と調査会社の間で薄片観察結果を断層岩区分に反映させることを決定し、同年 11 月頃、審査用に準備していた資料(調査会社作成)に誤記が多数確認されたことを受け、日本原電は再発防止のため破碎帯に係るデータベースを整理して、その内容を柱状図や他の審査資料に反映することとした。この過程で、データベース内の断層岩区分の記載が薄片観察結果に変更され、断層岩区分に関係するデータの整合作業の結果、柱状図の記事欄の記載も書換えられた。</p> <p>そのため、コア観察カードを元に肉眼観察による観察結果のみを柱状図記事欄に記載すべきところ、薄片観察に基づく観察結果も記載されることになり、一部肉眼観察による断層岩区分の観察結果が書換えられることになった。</p> <p>なお、コア観察カードの内容は変更されていなかった。</p> <p>コア観察結果等のデータから作成されるボーリング柱状図の記事欄の一部が書換えられ、さらに説明なく提出されたことから、令和2年10月7日に開催された第 31 回原子力規制委員会において、本ボーリング柱状図データ書換え事象に対する日本原電による原因調査分析の妥当性を原子力規制検査の中で確認していくこととなった。</p> <p>検査官は、公開会合と日本原電本店での検査を実施し、柱状図記事欄の書換えに至った事実関係の整理を中心に原因調査分析の状況を確認し、令和3年7月28日の原子力規制委員会において資料作成に係る以下のような QMS 上の不備が確認されたことを検査の途中経過として報告した。</p> <p>A) 審査資料作成のために必要な業務計画が作成されず、また、断</p>

	<p>層岩区分の評価に薄片観察結果を反映させるなどの方針変更がなされた際にも手順の明確化や関係者間の認識共有などの変更管理に必要な業務管理が適切に実施されていなかった。</p> <p>B) 柱状図、性状一覧表など各審査資料の記載についても記載すべき事項を明確に定めていなかったため、薄片観察結果を肉眼観察結果と同様に扱って柱状図記事欄に反映することとし、また、断層岩区分では薄片観察結果で得られたデータの採用の是非について評価が適切に行われることなく採用され、柱状図記事欄の上書きが行われるなど、適切に記載するための管理が行われなかった。</p> <p>なお、日本原電が審査官を錯誤させる目的で意図的に審査資料の書換えを行ったことについては確認できなかった。</p>
<p>検査指摘事項の重要度評価等</p>	<p>[パフォーマンス劣化]</p> <p>上記 A)においては、品質管理基準規則第二十七条(設計開発計画)及び第三十三条(設計開発の変更の管理)への適合に失敗している。また、B)においては、当該業務の遂行に必要な以下の2つの業務プロセスが構築されていないことから、同規則第二十三条(個別業務に必要なプロセスの計画)への適合にも失敗していた。これら規制要求への適合の失敗は、合理的に予測可能であり、予防措置を講ずることが可能であったことから、パフォーマンス劣化があったと判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 調査データのトレーサビリティが確保されること ② 複数の調査手法により評価結果が審査資料に示される場合は、その判断根拠が明確にされること <p>[スクリーニング]</p> <p>本パフォーマンス劣化は、現在審査中の原子炉設置変更許可申請における原子炉施設の耐震性を判断するための審査資料の作成に関するものであり、実際に原子炉施設に有意な機能劣化(原子力安全を維持、確保する機能に関わる設備やシステム等の状況が管理値を下回っている状態)をもたらしたのではない。</p> <p>このことから、「検査気付き事項のスクリーニングに関するガイド」4.(2)に従い、検査指摘事項には該当しないと判断する。</p>
<p>規制措置</p>	<p>[深刻度評価]</p> <p>「原子力規制検査における規制措置に関するガイド」に基づき評価を行ったところ、原子力安全に実質的な影響を及ぼさなかったとはいえ、原子力規制委員会の規制活動は、許認可申請の内容が正確で時機を得て情報提供されるという前提に基づいて行われるものである。</p>

	<p>したがって、敷地内破碎帯の活動性の評価という適合性審査における重要な論点の判断に用いるデータについて、正確な情報が提供されないことにより、審査に不必要な混乱や人的資源を多大に費やすことになったことは、原子力規制委員会の規制活動に影響を与えたと判断する。</p> <p>深刻度レベルについては、原子力規制委員会の規制活動に対する影響度合いを踏まえ、「SLⅢ」と判断する。</p>
整理番号	—